

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：中島 威夫

事業名	一般国道407号東松山バイパス <small>ひがしまつやま</small>	事業区分	一般国道	事業主体	埼玉県										
起終点	自：埼玉県東松山市下野本 至：埼玉県坂戸市片柳 <small>さいたまけんひがしまつやましものもと さいたまけんさかどしかたやなぎ</small>	延長	4.8km												
事業概要 一般国道407号は、栃木県足利市を起点とし、埼玉県入間市に至る延長約64kmの幹線道路である。東松山バイパスは、現道の交通混雑の緩和を目的とした、延長4.8kmの4車線道路である。 <small>ひがしまつやま</small> <small>とちぎけんあしかがし</small> <small>さいたまけんいるまし</small>															
S58年度事業化	S51年都市計画決定	S58年度用地着手	S62年度工事着手												
全体事業費		99億円		事業進捗率											
				84%											
計画交通量		51,000台/日		供用済延長											
				3.0km											
費用対効果分析結果	B/C (事業全体)	総費用 (残事業)/ (事業全体) 25/47億円 （事業費：22/44億円 維持管理費：3/3億円）		総便益 (残事業)/ (事業全体) 138/138億円 （走行時間短縮便益：128/128億円 走行費用減少便益：0/0億円 交通事故減少便益：10/10億円）											
	(残事業)	2.9		5.5											
				基準年 平成15年											
事業の効果等															
<ul style="list-style-type: none"> 円滑なモビリティの確保（現道等の混雑時旅行速度が20km/h未満区間の改善が期待される） 都市の再生（高坂東口土地区画整理事業と沿道まちづくりと連携あり） <p style="text-align: right;">他4項目に該当（定量的評価項目を含む）</p>															
関係する地方公共団体等の意見															
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 周辺道路の整備等による全体交通量の増加により、上野本地区の交通渋滞はますます深刻化している。															
事業の進捗状況、残事業の内容等 用地買収がほぼ完了しており、早期の供用開始に向け工事を推進している。															
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 現在約3km区間を供用しており、残る都幾川を渡る区間についても、橋りょう下部工事を行っており、早期の供用開始を目指し整備を進めている。															
施設の構造や工法の変更等															
対応方針		事業継続													
対応方針決定の理由		以上の事を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。													
事業概要図															
<p style="text-align: center;">東松山バイパス L=4,752m</p> <p>H12年度供用済(2/4) L=986m H4年度供用済(2/4) L=2,026m</p> <p>東松山市、高坂橋、新東松山橋、新江川橋、高坂東口土地区画整理事業、高坂駅前、九十九橋、都幾川、坂戸市片柳</p>															
<table border="1" style="border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2">凡 例</th> </tr> <tr> <td style="width: 15px; height: 10px; background-color: #cccccc;"></td> <td>供 用 中</td> </tr> <tr> <td style="width: 15px; height: 10px; background-color: #808080;"></td> <td>事 業 中</td> </tr> <tr> <td style="width: 15px; height: 10px; background-color: #d3d3d3;"></td> <td>再 評 価 箇 所</td> </tr> <tr> <td style="width: 15px; height: 10px; background-color: #a9a9a9;"></td> <td>う ち 供 用 中</td> </tr> </table>						凡 例			供 用 中		事 業 中		再 評 価 箇 所		う ち 供 用 中
凡 例															
	供 用 中														
	事 業 中														
	再 評 価 箇 所														
	う ち 供 用 中														

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。
 ※事業全体の費用便益は、既供用区間を除く区間を対象とした費用便益分析を行っている。